

あんしん設定

暗証番号について

FOMA 端末で利用する暗証番号について	144
端末暗証番号を変更する	< 端末暗証番号変更 > 146
PIN コードを設定する	< PIN コード設定 > 147
PIN ロックを解除する	151

携帯電話の操作や機能を制限します

各種ロック機能について	152
他の人が使用できないようにする	< オールロック > 153
おまかせロックを利用する	154
発信や着信ができないようにする	< セルフモード > 155
シークレット設定されている情報を表示する	< シークレットモード > 156
リダイヤル・着信履歴などの表示を制限する	< 履歴表示制限 > 157
電話帳やメールなどを表示しないようにする	< 個人情報表示制限 > 158
ダイヤル発信を禁止する	< ダイヤル発信制限 > 159

発信や送受信を制限します

指定した電話番号からの電話だけを受けない／受ける	< 電話帳指定着信拒否／許可 > 160
発信者番号のわからない電話を受けない	< 非通知理由別着信設定 > 163
電話帳未登録の相手の着信音を無音にする	< 無音着信時間設定 > 164
電話帳未登録の相手からの電話を受けない	< 登録外着信拒否 > 166

その他の「あんしん設定」について

電話帳お預かりサービスとは	167
その他の「あんしん設定」について	168

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.146

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が自動的に切れます。誤った端末暗証番号を入力した累積回数は、正しい端末暗証番号を入力したり、新たに端末暗証番号入力画面を表示したりするとクリアされます。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更できます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

i モードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、i モード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「i モードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.231

この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

→p.149

PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用する暗証番号です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1コード／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがロックされます。



お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号、i モードパスワード、PIN1コード、PIN2コードはご契約後に好きな番号に変更してください。

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時 0000

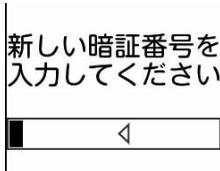
お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

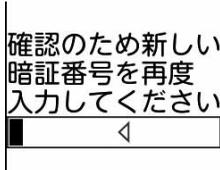
- 1 待受画面で  ▶ 「[#] 詳細な機能・設定」▶ 「[*] 操作の制限をする」▶ 「[6] 暗証番号を変更する」を押す

現在の端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 2 現在の4～8桁の端末暗証番号を入力▶ **決定** を押す



- 3 新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶ **決定** を押す



- 4 操作3で入力した新しい4～8桁の端末暗証番号をもう一度入力▶ **決定** を押す

暗証番号を変更した旨のメッセージが表示されます。

- 5 **決定** を押す

メニュー画面に戻ります。

-  を押すと待受画面に戻ります。

PINコードを設定する

- PINコードの設定はFOMAカードに記録されます。FOMAカードを別のFOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、現在の設定のままご利用になれます。
- PIN1コード、PIN2コードには、4～8桁の数字を設定します。

PIN1コード使用

ご契約時 使用しない

FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

- 入力した端末暗証番号またはPIN1コードは「*」で表示されます。

- 1 待受画面で  「[#] 詳細な機能・設定」▶ 「[*] 操作の制限をする」▶ 「[7] FOMAカードのPINコードを設定する」を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶ **決定** を押す

FOMAカードの
PINコードを
設定してください

- | | |
|---|------------|
| 1 | PIN1コード 変更 |
| 2 | PIN2コード 変更 |
| 3 | PIN1コード 使用 |

- 3 「[3] PIN1コード使用」を押す

PIN1コードを使用するかどうかの確認画面が表示されます。

- 4 「[1] 使用する」または「[2] 使用しない」を押す

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

◀

5 PIN1コードを入力▶**決定**を押す

PIN1コードを使用する／しない旨のメッセージが表示されます。

- 現在の設定を変更しない場合、PIN1コードの入力画面は表示されません。
- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。

6 **決定**を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

PIN1コード使用を設定すると

FOMA端末の電源を入れると、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

1 FOMA端末の電源が入っていない状態でを2秒以上押す

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます



電源が入ります。

2 PIN1コードを入力▶**決定**を押す

PIN1コードが認識された旨のメッセージが表示され、待受画面が表示されます。

お知らせ

- PIN1コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、PIN1コードがロックされます。**決定**を押すとPINロック解除コードの入力画面が表示されます。→p.151
- 通知時刻自動電源ON設定により自動的に電源が入ると、PIN1コード入力画面よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。を押すと、PIN1コードの入力画面が表示されます。

PIN1コード／PIN2コード変更

ご契約時 PIN1コード／PIN2コード：0000

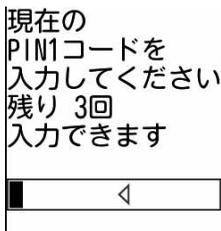
- PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを使用するように設定する必要があります。→p.147
- PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用します。→p.267
- PIN1コード、PIN2コード変更の操作方法は同様です。
- 入力した端末暗証番号またはPIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードを変更するとき

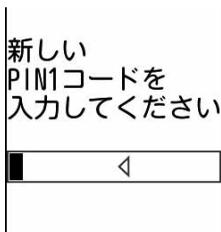
1 待受画面で  「# 詳細な機能・設定」▶ 「* 操作の制限をする」▶ 「7 FOMAカードのPINコードを設定する」を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶  を押す
FOMAカードのPINコードを設定する旨のメッセージが表示されます。

3 「1 PIN1コード変更」を押す



4 現在のPIN1コードを入力▶  を押す



5 新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶決定を押す

確認のため新しい
PIN1コードを再度
入力してください



6 操作5で入力した新しい4～8桁のPIN1コードをもう一度入力▶決定を押す

PIN1コードを変更した旨のメッセージが表示されます。

- 現在のPIN1コードの入力に失敗すると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作4からやり直してください。
- 操作5で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作5からやり直してください。

7 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 現在のPIN1コード／PIN2コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コード／PIN2コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すとPIN1コード／PIN2コードがロックされます。決定を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→p.151
- PIN2コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPINコードの入力を連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
- PIN1コード、PIN2コードのPINロック解除の操作方法は同様です。
- 入力したPINロック解除コード、PIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードのロックを解除するとき

1 PIN1コードがロックされた旨の確認画面で **決定** を押す

PINロック
解除コードを
入力してください
残り10回
入力できます

2 8桁のPINロック解除コードを入力▶ **決定** を押す

新しい
PIN1コードを
入力してください

3 新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶ **決定** を押す

確認のため新しい
PIN1コードを再度
入力してください

4 操作3で入力した4～8桁のPIN1コードをもう一度入力▶決定を押す

PINロック解除コードが認識された旨のメッセージが表示されます。

- PINロック解除コードの入力に失敗すると、PINロック解除コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。**決定**を押して操作2からやり直してください。
- 操作3で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。**決定**を押して操作3からやり直してください。

5 **決定**を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

各種ロック機能について

FOMA端末を他人に不正に使用されたり、電話帳データやメールなどの個人情報を見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

項目	説明	参照先
オールロック	各機能のメニュー操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防げます。	p.153
おまかせロック	紛失した場合などに第三者に不正に使用されないようロックをかけます。	p.154
セルフモード	電話やiモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。	p.155
シークレットモード	電話帳データや予定表にシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号の入力を必要とするシークレットモード中のみ表示されます。	p.156
履歴表示制限	リダイヤルや着信履歴、伝言メモ、音声メモの表示を制限します。	p.157
個人情報表示制限	電話帳データやメールなどの個人情報の表示や改ざんをできないようにします。	p.158
ダイヤル発信制限	ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにします。	p.159

- シークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- おまかせロック以外のロック機能を設定しても、緊急通報（110番、119番、118番）とワンタッチブザーの自動音声発信はできます。
- 複数のロック機能を同時に設定できます。たとえば、ダイヤルボタンによる電話発信と、電話帳や個人情報などの表示を同時に制限するときは、ダイヤル発信制限と個人情報表示制限をそれぞれ「制限する」に設定します。

他の人が使用できないようにする

オールロック中は、各機能のメニュー操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して **☎** を押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

● microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

オールロックの設定

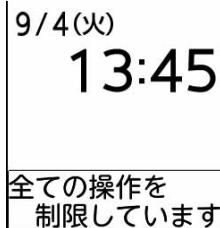
1 待受画面で **☰** ^{メニュー} ▶ 「[#] 詳細な機能・設定」 ▶ 「[*] 操作の制限をする」 ▶ 「[1] 全ての操作を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ **決定** を押す

全ての操作を制限した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定** を押す



待受画面に戻ります。

● オールロック中は、FOMA端末を折り畳んでいるときに **☎** または **+** **☎** を押すと、背面ディスプレイに「オールロック中」と表示されます。

オールロックの解除

1 オールロック中に待受画面で4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ **決定** を押す

全ての操作の制限が解除された旨のメッセージが表示されます。

2 **決定** を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- オールロック中の待受画面には、画像やカレンダーを表示するように設定していても、お買い上げ時の画像が表示されます。
 - オールロック中は、目覚ましや予定の通知は動作しません。
 - オールロック中でも次の機能は利用できます。
 - ・ 音声電話やテレビ電話を受ける操作※¹
 - ・ 電話帳お預かりサービスの自動更新
 - ・ i モードメールやSMS、メッセージR/Fの受信※²
 - ・ おまかせロックの起動
 - ・ GPSの位置提供の要求を受けたときの操作※³
 - ・ ワンタッチプザーの自動音声発信
- ※1 電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻ります。オールロックを解除すると着信履歴に表示されます。
- ※2 着信時や受信時の動作はしません。
- ※3 位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。

おまかせロックを利用する

FOMA 端末を紛失した場合などに、ドコモにご連絡いただくか、または My DoCoMo からの操作により遠隔操作でご契約中の FOMA カードが挿入されている FOMA 端末にロックをかけるサービスです。

お客様からのお申し出などによりロックを解除することができます。

※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。おまかせロック中でも位置提供機能の設定が「受信する」の場合は、GPS 機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除

 0120-524-360 受付時間 24時間

※ パソコンなどで My DoCoMo のサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（i モード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、FOMA 端末を折り畳んでいるときに  または  を押すと、背面ディスプレイに「おまかせロック中」と表示されます。
- 電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作、GPS の位置提供の要求を受けたときの操作以外のボタン操作ができなくなります。ただし、microSD メモリーカードや FOMA カードにはロックはかかりません。

お知らせ

- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されず。また、着信時の着信画像や着信音などは、お買い上げ時の状態に戻ります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。
- おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中におまかせロックを起動した場合は、起動中の各機能を終了します（編集中のデータがあるときは、編集中のデータを保存せずに終了する場合があります）。
- 各種ロック機能を設定中でも、おまかせロックが優先されます。
- FOMA端末を紛失したときに電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中は、おまかせロックがかかりません。
- 電源を入れる／切る操作はできますが、電源を切ってもロックは解除されません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合はおまかせロックがかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者本人からのお申し出によりロックをかけるサービスのため、ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時 解除する

電話やiモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。

1 待受画面で 「[#] 詳細な機能・設定」▶ 「[*] 操作の制限をする」▶ 「[2] セルフモードを設定する」を押す

セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1] 設定する」を押す

セルフモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「[2] 解除する」：セルフモードを解除します。

3 **決定** を押す

メニュー画面に戻ります。

-  を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、ディスプレイ上部に**SELF**が表示されます。FOMA端末を折り置いているときは、背面ディスプレイに**SELF**が表示されます。

お知らせ

- セルフモード中は、次の機能が利用できません。
 - ・電話やテレビ電話の発着信
 - ・iモード、メールの送受信
 - ・GPS（現在地通知一覧への通知先の登録や編集、削除含む）
 - ・赤外線通信
 - ・パソコンと接続したデータ送受信
- 本機能を使用中は、電話をかけてきた相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- 本機能設定中に受信したiモードメールやメッセージR/Fは、iモードセンターに保管されます。受信する場合は本機能を解除してからiモード問合せを行ってください。
- 本機能設定中に緊急通報（110番、119番、118番）やワンタッチプザーの自動音声発信を行うと、本機能は解除されます。

シークレットモード

シークレット設定されている情報を表示する

お買い上げ時 解除する

本機能を設定すると、シークレット属性を設定している電話帳データや予定表を表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にもシークレットモードを設定する必要があります。

シークレットモードの設定

- 1 待受画面で  「**#**詳細な機能・設定」▶ 「*****操作の制限をする」▶ 「**3**シークレットモードに設定する」を押す

シークレットモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 2 「**1**設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 「**2**解除する」：シークレットモードを解除します。

- 3 4～8桁の端末暗証番号を入力▶ **決定**を押す

シークレットモードを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 4 **決定**を押す

メニュー画面に戻ります。

-  を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、ディスプレイ上部に  が表示されます。

シークレットモードの解除

- 1 シークレットモード中に待受画面で  を押す
シークレットモードが解除されます。

お知らせ

- 電話帳データにシークレット属性を設定する→p.104
- 予定にシークレット属性を設定する→p.468

履歴表示制限

リダイヤル・着信履歴などの表示を制限する

お買い上げ時 制限しない

リダイヤルや着信履歴、伝言メモ、音声メモの表示を制限して、他人に発着信情報を知られないようにします。

- 1 待受画面で  ▶ 「[#] 詳細な機能・設定」 ▶ 「[*] 操作の制限をする」 ▶ 「[4] 電話の履歴表示を制限する」 を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 2 4～8桁の端末暗証番号を入力 ▶ **決定** を押す
着信履歴／リダイヤル／伝言メモ／通話音声メモの表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

- 3 「[1] 制限する」 を押す
履歴表示を制限した旨のメッセージが表示されます。
 - 「[2] 制限しない」：履歴表示の制限を解除します。

- 4 **決定** を押す
メニュー画面に戻ります。
 -  を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「制限する」に設定しても、発着信情報はリダイヤル／着信履歴に記録されます。制限を解除すると、制限中に記録された発着信情報を表示することができます。

電話帳データやメールなどの個人情報の表示や改ざんを防げます。

- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。→p.166
- 本機能を使用中でも発着信は記録されます。リダイヤルや着信履歴からは電話をかけることができます。

1 待受画面で  ▶ 「**#**詳細な機能・設定」▶ 「*****操作の制限をする」▶ 「**5**個人の情報表示を制限する」を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶ **決定**を押す

3 「**1**制限する」を押す
個人の情報表示を制限した旨のメッセージが表示されます。
● 「**2**制限しない」：個人の情報表示の制限を解除します。

4 **決定**を押す
メニュー画面に戻ります。
● を押すと待受画面に戻ります。
● 本機能を使用中は、待受画面に が表示されます。

個人情報の表示を制限すると

- 次の機能（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。ただし、microSD メモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。
 - 個人情報
 - 電話帳
 - 登録外着信拒否
 - 非通知理由別着信設定
 - 電話帳お預かりサービス（自動更新を除く）
 - i モード
 - メール／SMS／メッセージR/F※¹
 - ユーザ証明書操作
 - 脳力ストレッチ
 - 写真（アルバムや拡大鏡、手書きメモ、バーコード読み取り※³の利用含む）
 - 伝言メモ
 - 着信音設定
 - 電話帳指定着信拒否／許可
 - ボイスダイヤル登録
 - i チャネル
 - i モード問合せ
 - GPS（ナビソフトを含む）※²

- ビデオ（アルバムや音声のみの動画／i モーションの利用含む）
- メロディ
- 通知時刻自動電源ON設定
- 予定表（待受カレンダーに表示される予定を含む）
- 音声メモ
- データー一括削除
- ソフトウェア更新
- 赤外線送信／受信
- microSDメモリーカード
- 目覚まし
- 各種設定リセット
- 歩数計
- スキャン機能
- パソコンを接続したデータ送受信

※1 自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メールの設定もできません。

※2 イマドコサーチによる位置提供の要求を受けたときの操作はできます。ただし、要求者IDが電話帳データと一致しても要求者名は表示されません。

※3 文字入力画面のサブメニューからのバーコード読み取りはできます。

お知らせ

- 本機能を使用中に制限されている機能をメニューから選択すると、個人の情報表示が制限されている旨のメッセージが表示され実行できません。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。
- 本機能を使用中は、電話帳に登録している相手から電話がかかっても、相手の名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 本機能の対象となっている画像やメロディを待受画面や着信音などに設定していると、本機能を使用中は設定がお買い上げ時の状態に戻ります。本機能を解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「内蔵写真」「内蔵メロディ」「内蔵ビデオ」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、本機能を使用してもお買い上げ時の状態には戻りません。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時 制限しない

ダイヤルボタンを押して電話をかけられない状態にします。

- ワンタッチダイヤルボタンや電話帳、リダイヤルからは電話をかけることができます。

1 待受画面で  「[#] 詳細な機能・設定」▶ 「[*] 操作の制限をする」▶ 「[8] ダイヤル入力での発信を制限する」を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶  を押す
ダイヤル入力での発信を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]制限する」を押す

ダイヤル入力での発信の制限を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「[2]制限しない」:ダイヤル入力での発信の制限を解除します。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、待受画面に が表示されます。
- 本機能を使用中に個人情報表示制限中にする(→p.158)、待受画面の は に切り替わります。

ダイヤル入力での発信を制限すると

- 次の操作ができなくなります。

- ダイヤル入力による発信
- 外部機器と接続しての発信^{※1}
- 個人情報の登録、修正
- Phone To (AV Phone To)、Mail To機能
- 外部機器との電話帳データや個人情報の送受信
- microSDメモリーカード内の電話帳データの参照
- 電話帳データのmicroSDメモリーカードへの保存／復元
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- 着信履歴からの発信
- 電話帳の登録、修正、削除
- iモードメール／SMSの送信^{※2}
- GPSの現在地通知^{※3}

※1 外部機器からFOMA端末電話帳のメモリ番号を指定しての発信はできます。

※2 電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールに返信はできません。

※3 登録した通知先への通知はできます。通知先一覧への通知先の登録や編集、削除はできません。

電話帳指定着信拒否／許可

指定した電話番号からの電話だけを受けない／受ける

FOMA端末電話帳から相手を選んで着信拒否／許可一覧に登録し、その相手の電話番号に対して着信拒否／許可を設定します。拒否を設定すると、登録した相手からの電話はつながりません。また、許可を設定すると、登録した相手からの電話のみつながります。相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

- あらかじめ電話帳の登録が必要です。→p.87
- 番号通知お願いサービス(→p.530)や非通知理由別着信設定の着信動作の設定(→p.163)を併用することをおすすめします。
- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→p.158

着信拒否／許可相手の登録

着信を拒否／許可する相手を電話帳から指定して登録します。

- 拒否／許可する相手は、それぞれ最大20件登録できます。
- FOMAカード電話帳から指定することはできません。

〈例〉着信を拒否する相手を登録するとき

1 待受画面で ▶ 「# 詳細な機能・設定」▶ 「5 電話・電話帳の詳細を設定する」

2 「2 着信を拒否する相手を指定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 「3 着信を許可する相手を指定する」：着信を許可する相手を指定します。

3 4～8桁の端末暗証番号を入力▶ **決定**を押す

登録した相手を
着信拒否に
設定しますか？

- 1 設定する
- 2 解除する
- 3 相手を登録する

- ① 設定する : 着信拒否を設定します。
- ② 解除する : 着信拒否を解除します。
- ③ 相手を登録する : 着信を拒否する相手を着信拒否登録一覧に登録します。

4 「3 相手を登録する」を押す

着信拒否登録一覧

- 1: [未登録]
- 2: [未登録]
- 3: [未登録]

-   : 前後のページを表示できます。

5 登録先の番号を選択▶ **決定**を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

- 登録済みの相手を変更する：相手を選択▶ ▶ 「1 編集する」を押します。
- 登録済みの相手を削除する：相手を選択▶ ▶ 「2 削除する」▶ 「1 削除する」を押します。操作7に進みます。

6 登録する相手を検索して選択▶ **決定**を押す

着信を拒否する相手に登録した旨のメッセージが表示されます。

- 検索方法→p.96

7 決定を押す

着信拒否登録一覧に戻ります。

- **戻る**を押すと続けて着信拒否／許可の設定ができます。→p.162「着信拒否／許可の設定」操作2～3
登録を行っただけでは、着信拒否／許可は設定されません。必ず着信拒否／許可の設定を行ってください。
- **戻る**を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- シークレット属性を設定した電話帳データは、着信拒否／許可登録一覧では [*****] と表示されます。また、着信があっても着信拒否／許可の動作は行われません。シークレットモード中は名前が表示され、着信拒否／許可の動作が行われます。
- 登録した相手の電話帳データを修正／削除した場合は、着信を拒否／許可に登録した相手のデータも修正／削除されます。

着信拒否／許可の設定

お買い上げ時 解除する

電話帳指定着信拒否または電話帳指定着信許可を設定します。

- 電話帳指定着信拒否と電話帳指定着信許可を同時に設定できません。

〈例〉着信拒否を設定するとき

1 p.161の操作1～3を行う

2 「1設定する」を押す

着信拒否を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 着信を拒否する相手を登録していない場合は、相手が登録されていない旨のメッセージが表示されます。**決定**を押して相手を登録してください。→p.161「着信拒否／許可相手の登録」操作4～7

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- **戻る**を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否を設定中に拒否した電話番号の着信があった場合、または電話帳指定着信許可を設定中に許可していない電話番号の着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- i モードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

非通知理由別着信設定

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時 [非通知設定、通知不可能、公衆電話] 設定を解除

発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由→p.68）ごとに着信動作を設定します。

- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→p.158

1 待受画面で  「[# 詳細な機能・設定]」▶ 「[5] 電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「[5] 発信通知のない着信を設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶ **決定** を押す

発信通知されない着信の種類を選んでください

- 1 非通知設定
- 2 通知不可能
- 3 公衆電話

- ① 非通知設定 : 非通知設定の着信動作を設定します。
- ② 通知不可能 : 通知不可能の着信動作を設定します。
- ③ 公衆電話 : 公衆電話などの着信動作を設定します。

3 「[1] 非通知設定」～「[3] 公衆電話」のいずれかを押す

選んだ発信通知なし着信の動作を設定してください

- 1 着信音を選択
- 2 着信音量を消音
- 3 着信を拒否
- 4 設定を解除

- ① 着信音を選択 : 発信者番号の非通知理由ごとに着信音を設定します。
- ② 着信音量を消音 : 着信音を鳴らさないようにします。
- ③ 着信を拒否 : 着信を拒否します。
- ④ 設定を解除 : 着信動作の設定を解除します。

4 「**1**着信音を選択」～「**4**設定を解除」のいずれかを押す

- 「**2**着信音量を消音」～「**4**設定を解除」：操作6に進みます。

5 「**1**メロディ」または「**2**着メーション」▶フォルダを選択

▶**決定**▶着信音を選択▶**決定**を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- メロディまたは動画／i モーションの再生方法→p.121「電話が着信したときの着信音の設定」操作6

6 **決定**を押す

非通知理由の選択画面に戻ります。

- 着信動作を設定した項目には「*」が表示されます。
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「着信を拒否」に設定中に発信者番号が通知されない着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- 本機能と番号通知お願いサービス（→p.530）を同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
- i モードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。
- 発信者番号が通知されない音声電話やテレビ電話がかかってくると、音声電話は着信音設定より本機能で設定した着信音が優先して鳴ります。テレビ電話の場合は、着信動作を「着信を拒否」に設定したときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、着信音設定のテレビ電話の設定に従って動作します。→p.120

無音着信時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時 無音着信動作：設定しない

登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、設定した時間が経過した後に着信音などの呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

- 本機能を使用中は、次のように動作します。
 - ・待受中または通話中に音声電話がかかってくると、無音着信時間内はディスプレイの表示のみで着信を知らせます。無音着信時間が経過すると、待受中の場合は通常の呼出動作を開始します。通話中の場合は「プブ…プブ…」という通話中着信音（→p.68）が受話口から聞こえます。

- 呼出時間が無音着信時間内の不在着信は、着信履歴に表示されません。また、新着情報と「☎」も表示されません。ただし、表示の切り替えにより、無音着信時間内の不在着信を表示できます。表示方法については「かかってきた電話に出なかったとき」のお知らせをご覧ください。→p.61
- 通常の着信履歴と無音着信時間内の不在着信は、合わせて最大30件記録されます。
- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。

1 待受画面で ▶ 「[# 詳細な機能・設定]」▶ 「[5] 電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「[9] 無音着信時間を設定する」を押す

無音着信時間を設定してください

- 1 無音着信動作 設定しない
- 2 無音着信時間 4秒間

- ① 無音着信動作 : 本機能を有効にするかどうかを設定します。
- ② 無音着信時間 : 着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

あんしん設定

無音着信時間設定

2 「[1] 無音着信動作」を押す

無音着信動作を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1] 設定する」を押す

無音着信時間の設定画面が表示されます。

- 「[2] 設定しない」: 無音着信動作を設定しません。操作5に進みます。

4 無音着信時間を入力▶ を押す

操作1の画面に戻ります。

- 1～99秒の間で設定します。

5 を押す

無音着信時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 を押す

メニュー画面に戻ります。

-  を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、次のような場合は無音着信時間内の不在着信として記録され、着信履歴に表示されません。
 - ・ 個人情報表示制限中（→p.158）で、相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
 - ・ シークレットモード中でない場合で、シークレット属性が設定されている相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
 - ・ 発信者番号を非通知で電話をかけてきた相手が、無音着信時間内で電話を切ったとき
- 留守番電話サービスや転送でんわサービス、伝言メモを設定しているときは、電話がかかってくると、本機能の設定に関わらず各機能が動作します。
- 公共モード中は、本機能は動作しません。
- 電話帳指定着信拒否／許可（→p.160）、非通知理由別着信設定（→p.163）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能とオート着信機能設定（→p.501）を同時に設定している場合、無音着信時間をオート着信機能設定の応答時間以上に設定すると、オート着信機能設定は動作しません。
- 本機能とオートスピーカーホン機能（→p.69）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、オートスピーカーホン機能は動作しません。

登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時 許可する

電話帳に登録していない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたときに着信を拒否します。

- 電話がかかってきたときの表示について→p.67
- 相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は非通知理由別着信設定に従って動作します。非通知理由別着信設定、および番号通知お祝いサービスを併用することをおすすめします。→p.163、p.530
- 個人情報表示制限中（→p.158）や無音着信時間設定中（→p.164）は、本機能を使用できません。

1 待受画面で 「[#] 詳細な機能・設定」▶ 「[5] 電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「[4] 電話帳登録外の着信を拒否する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号を入力▶ を押す

電話帳に登録されていない相手からの着信を受けるかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1] 拒否する」を押す

電話帳登録外の着信を拒否するように設定した旨のメッセージが表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● (←) を押すと待受画面に戻ります。

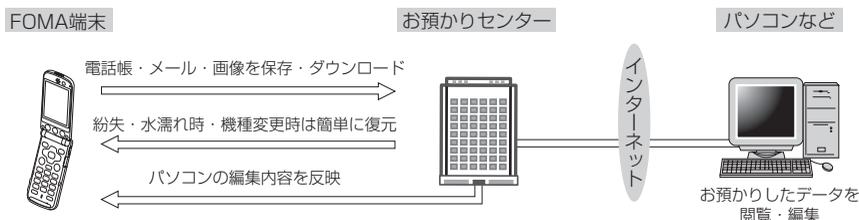
お知らせ

- 本機能を「拒否する」に設定中に電話帳未登録の相手やシークレット属性を設定した電話帳データからシークレットモード中でないときに着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービスとは

電話帳を自動更新でバックアップできます。FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メールをお預かりセンターに保存して、FOMA端末の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更した場合は、一斉通知することもできます。メール送信時にかかるパケット通信料はかかりません。パソコン(My DoCoMo)があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳お預かりサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード〈FOMA〉編)]をご覧ください。



※ 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはiモード契約が必要です)。

- 電話帳・メール・画像をお預かりセンターに保存/復元する操作方法については、各ページを参照してください。

電話帳→p.103、p.104 メール→p.365 画像→p.405

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますので活用ください。

目 的	機能・サービス名称	参照先
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	p.529
発信者番号を通知してこない電話を受けません。	番号通知お願いサービス	p.530
電子認証サービスを利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応サイトに限ります）。	FirstPass	p.222 p.270
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	p.598
障害を引き起こす可能性のあるデータの削除やアプリケーションの起動の中止によって、FOMA端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	p.606
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信します。	メール選択受信	p.318
災害時に i モードを利用して、安否情報を登録/確認します。	「i モード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（i モード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	
URLが記載されたメールを受信しません。	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールを受信/拒否します。	迷惑メール対策（受信/拒否設定）	
i モードどうしのメールのみ受信/拒否します。		
指定したアドレスからのメールを受信/拒否します。	迷惑メール対策（かんたん <input checked="" type="checkbox"/> 設定）	
迷惑メール対策のおすすめ設定を簡単に設定します。		
1日に1台の i モード端末（movax端末含む）から送信される500通目以降の i モードメールを拒否します。	迷惑メール対策（i モードメール大量送信者からのメール受信制限）	
すべてのSMSまたはSMSの種類を指定して受信を拒否します。	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	その他設定（未承諾広告※メール拒否）	
受信するメールサイズを制限します。	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認します。	メール設定確認	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
紛失した携帯電話のおおよその位置を確認します。	ケータイお探しサービス	